



国土交通省

富山河川国道事務所

記者発表資料

平成28年9月6日
配布：県政記者クラブ
扱い：配布後解禁

庄川堤防で倒木の恐れのある5木を伐採

砺波市上中野から金屋付近の庄川左岸の堤防には、松や桜などの並木が植えられていますが、樹木の老齢化が進み、本年4月には強風で倒れる被害が発生し、堤防道路(砺波市道)などに通行障害が発生しました。

この度、庄川左岸169本の並木を樹木医の協力により生育診断を実施したところ、倒木したり大枝が落下したりする危険性の極めて高い5本の伐採と枯れ枝の剪定を近日中に行います。

伐採作業中は堤防道路を一部規制いたしますので、ご協力をお願いします。



平成28年4月に発生した倒木



樹木医による調査の様子

お問い合わせ先

■ 大門出張所長 牛澤 秀光 TEL: 0766-52-1573
FAX: 0766-52-4329



パレットとやま

国土交通省北陸地方整備局

富山河川国道事務所 Tel:076-443-4701(代)

〒930-0837 富山市奥田新町2番1号 <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

【庄川左岸堤防並木 調査概要】

1. 調査日時 平成28年5月8日(日)～9日(月)
2. 場 所 砺波市上中野、青島、金屋の庄川左岸堤防
3. 調査内容 並木(松・ソメイヨシノなど)169本の状態調査
4. 調査者 一般社団法人日本樹木医会 富山支部
5. 診断 樹皮枯死欠損・腐朽など11項目から倒木や大枝の落下の危険性を判定
6. 診断結果 異常項目の多い樹木、病害虫被害木など26本を確認
7. 対応 根の浮き上がりや病害虫など緊急に伐採する必要性のある5本を伐採
枯枝が認められた立木の剪定
その他は関係機関等と調整し対応を検討認

